

## 新型コロナウイルス感染症対策：警戒レベル判断指標の状況（令和3年12月17日適用）

			令和4年7月12日 12時時点		レベル0	レベル1	レベル2	レベル3A	レベル3B	レベル4
					ゼロ期	流行注意期	感染流行期	感染まん延期		非常事態
判断指標	①	新規陽性者数 ※人口10万人当たり／人 (直近1週間合計) (1日平均／人)	1104.42 人		0人が継続	15人未満 (32人未満)	15人以上 (32人以上)	25人以上 (53人以上)	100人以上 (213人以上)	200人以上 (425人以上)
	②	病床使用率【国基準】 (入院中/確保病床数)	56.9 %	366 / 643	—	—	20%超	50%超		—
	③	重症者用病床使用率【国基準】 (重症者(国基準)/重症者用確保病床数)	23.3 %	14 / 60	—	—	20%超	50%超		—
参考指標	①	重症者用病床使用率【県基準】 (重症者(県基準)/確保済重症用病床数)	60.0 %							
	②	療養者数 (入院中・宿泊療養中・自宅療養中・入院等調整中)	18,768 人							
	③	感染経路不明な症例の割合 (直近1週間平均)	— %							
	④	新規PCR検査の陽性率 (直近1週間平均)	— %							
	⑤	入院率(入院中／療養者数)	2.0 %							
	⑥	前週比 (直近1週間の新規陽性者数 前週／今週)	1.52 倍							
	⑦	予測ツール (3週間後予測必要病床数)	5,810 床							

※1 判断指標②病床使用率【国基準】は、確保病床入院者数/最終フェーズにおいて、県が即応病床として確保することを計画する病床数（「最終フェーズ病床数」とは、一般医療と両立が可能な最大限の確保病床数のこと。）

※2 判断指標③重症者用病床使用率【国基準】は、確保病床入院者数/最終フェーズにおいて、県が即応病床として確保することを計画する病床数（「最終フェーズ病床数」とは、一般医療と両立が可能な最大限の確保病床数のこと。）

※3 国基準の「重症者」とは、厚生労働省の重症者基準に基づき、集中治療室(ICU, HCU)入院者を全て重症者として算定した数値である。

※4 県基準の「重症者」とは、ECMOでの治療が必要など重症者の患者のみで算定した数値である。

※5 参考指標⑦「予測ツール」については、レベル2以上から算出することとする。なお、前日時点の数値を使用している。

※6 上記の判断指標及び参考指標の動向を確認し、他の情報を踏まえて、県警戒レベルを総合的に判断する。□

※ 厚生労働省の省令改正により令和4年6月30日から医療機関が入力する発生届が簡素化されたことにより、③「感染経路不明な症例の割合」、④「新規PCR検査の陽性率」が集計不可となることから記載しない。